

里だより

No.400

令和7年5月1日

一発行一

菊池郡大津町平川400番地

社会福祉法人 清和会

つくしの里

TEL 096-293-1550

FAX 096-293-1579



令和7年度★スタート



入職式・永年勤続表彰



ありがとうございます。
新入職員あいさつ・
編集後記……………7

サービス向上委員会より・
行事予定……………6

行事報告……………5

職員より・事務局より……………4

主任より……………3

業務部より……………2

施設長より……………1

(ページ)



五月号もくじ



施設長より

リスクリング



四月一日に新卒一名、転職一名の職員を迎え、令和七年度が始まりました。昨今の人材不足の中で、新しく職員を迎え入れられたことは、ありがたいことです。これから新職員は、利用者支援の基礎・日課・各マニュアル・変則勤務・利用者さんの個々の特徴等々、多くのことを学んでいきますが、焦らずに着実に一つひとつ身に付けてほしいと思います。まずは概略的なものから着手しますが、何事も一つひとつを突き詰めていくと、その奥深さに気づきます。最初の一步が大切です。失敗を恐れずその一步を踏み出してもらいたいものです。

『学び』というものは、新職員に限ったことではなく、私を含む先輩職員にも必要です。先日、高齢者雇用の情報誌に、最近よく耳にする『リスクリング』のことが載っていました。そこでは『学びなおし』と訳されていますが、ベテラン層の職員も学びなおしを行うことで、仕事のパフォーマンスアップ、中高年層の活躍の場の確保、リスクの低減につなげ、若い層とベテラン層の棲み分けをし、持ち味を寄せ合って助け合いをする必要性が記されています。また、ベテラン層の強みとしては、経験による洞察力・深い技術と判断力・感情理解・俯瞰的思想・奉仕の心とありました。裏を返せば、それらが備わっていないと、活躍の場がない粘土層とお荷物化してくる危険性も出てくるという辛辣な内容でもありました。そうならないために学ぶ意識を持たなければ

ばなりませんし、取り掛かる必要があります。若い層の強みは、スピード感、デジタル、若い人のマーケット知識、記憶力、体力、身軽、ノリとのこと。経験を積んでいくと、ベテラン層の強みに追いついてくるのは時間の問題でしょう。ベテラン層は、勉強の習慣を消滅させてしまうと、自らの立ち位置を自らが脅かしてしまうことになりかねません。

例えば、同じ資格を持つ人がいて、一人は資格を取ったからと胡坐をかいている。もう一人は、その資格に恥じぬように専門的なところまで習得し続け、最新の情報をブラッシュアップしていくのでは、一年後の成長の違いは歴然です。また教わる後輩側からしてもその差は瞭然です。

趣味にしろ、仕事にしろ、健康管理・ボディーメイクにしろ何かを極めようとしている人は土台ができているので、強さがあるように感じます。当施設の法人理念の自律につながるのでしょうか。当施設では、施設内外の職員研修をはじめ、自主研修補助、研修及び情報誌購読の案内、オンライン研修の視聴できる取り組みなどを行い、学べる環境は整備されています。あとは自己啓発。方針にも掲げている支援者としての価値を見出し、そして、高めてもらいたいと思っています。

事業所側の環境整備的にはこれで満足という事ではなく、人事考課や職員育成計画をより良いものにし、質を高める取り組みも充実させていきます。

私自身も楽しんで学びなおせるようタスク整理中です。

施設長 松永 一博

業務部より

事務部門より



四月下旬頃から春とは思えない暑い日が増え、ニュースでは熱中症も報じられるようになりました。体調管理には気を付けたいと思います。

さて、事務局は二月から六月にかけて忙しい時期が続きます。主要業務として、補正予算・当初予算の計上、決算、理事会、定時評議員会、総資産の変更登記等です。その他、入職式や永年勤続表彰の準備、辞令の作成、労働契約の更新等があります。目まぐるしい毎日です。長年携わっている業務でも、見落としや漏れがないか心配で、心の余裕はありません。顧問の会計事務所や社労士さんに相談しながら対応することも多いです。

利用者さんにとって安心して過ごせる場所、職員にとって安心して働ける場所であるように、今年度も適切な運営に力を尽くしていきます。

何かと気忙しい事務室ですが、利用者さんの訪問には手を止めて対応します。

毎日訪問されるTさんは、どんな活動をしたか報告してくれたら、何を言うでもなく、しばらく滞在したり。事務職員の誰かが不在だと「今日は休みか」と確認されます。また、Mさんはエアコンをつけてほしいとか、Iさんは自分への郵便物が来ていない

とか、Sさんは月間予定のチェックとか、それぞれ自分なりの用事があります。気を抜くと、外から窓をトントン叩く人もいます。前日の出来事を話してくれたり、移動図書の確認だったりします。事務室が話しやすい職員がいる立ち寄りやすい所だと、思ってもらえていたら嬉しいのですが・・・。

令和七年度の施設・設備整備に軽車輛の購入を予定しています。共同募金会に配分の申請を出していたのですが、このほど配分決定の通知を頂きました。大変ありがたいことです。購入に向けての手続きはこれからですが、利用者さんの外出や送迎に活用する予定です。納車されたタイミングで改めてご報告いたします。

何だか、とりとめのない文章になってしまい失礼しました。この時期は気付かないうちに疲れが溜まっている方も多いと思います。五月の連休でしっかり休養してリフレッシュしてください。

事務長 光永 明日美



主任より

お金



最近の物価高で皆さん大変な状況かと思っています。ニュースを見ると、物価高について連日報道がされています。キャベツが一玉五百円を超えたり、お米が五キロで四千円を超えたりと、我が家も火の車です。外食もランチで千円を超えるのは当たり前になっています。結婚する前は、よくランチを食べていたのですが、私の感覚からするとランチに出せるお金は五百円までなので、現在は、ほぼ外食していません。節約の為にタバコを止めたり、ジムを退会したりと試みましたが、特に効果があるようには思いませんでした。食事だけではなく、ガソリン価格や人件費、何をするにもお金が必要です。アメリカの関税等で経済も大混乱な様子で先の不透明感から心配ではありません。今一度、お金について真剣に考えなければならぬと感じました。

そもそもお金ってなんだろうと思ひ、調べた事があります。世界がまだ発展する前、警察もおらず無秩序な世界で貴重な物は自分身や家族で管理しなくてはなりません。ここで貴重だったのは、「お米」です。以前のお米は、お金の様な役割もありました。お米を育てるのはとても大変な作業ですが、武力を持つ者がいれば、お米を奪う事で簡単に確保する事が出来ました。せっかく丹精込めて作っても強盗されてはどうしようもありません。このような無秩序な状況下で財産を守る事が出来ないため、守ってもらう必要がある訳です。その中で勢力を伸ばしたのが金

庫屋さんです。頑丈な金庫があれば強盗に怯えることもありせん。皆こぞってお米を預けます。預ける費用等で金庫屋さんは儲かります。どんどん金庫屋さんが普及すると毎回の出し入れや取引が面倒になります。何故なら相手も金庫屋さんを使っているからです。そのうちお米のやり取りは引換券のような物に代わっていきます。これが今で言う「お金」です。例えば野菜を頂いて、五キロのお米を渡す代わりに引換券を渡すのです。そうすると、相手も好きな時に引き出せます。金庫屋さんは現在という銀行になります。秩序と効率化の果てに「お金」が誕生したのです。

金庫は頑丈な方が好まれる為、より頑丈な所の引換券は価値があがります。これが為替の様なものです。ここから色々な発展を遂げて現在の「お金」がありますが、これからのデジタル社会では仮想通貨が主流になるのでしょうか。「お金」は労働に対する対価として数値化した信用物であり、日々価値が変動しながらも生活する上で必要不可欠です。お金がなければ我々の現在の生活が破綻する事でしよう。

「お金があれば幸せになれるのか」は、そうではないと思います。物欲を満たすだけでは物質的な幸せしか満たせないし、人は人間関係の中でしか幸福を感じる事が出来ないからです。お金がなければ孤独や不安を感じます。お金があれば先を見通して安心を得られると思います。

日々、利用者さんのお金の管理や嗜好品などの代理購入を行っております。利用者さんが安心して快適に生活できるように管理徹底していくと共に、より良いサービスを提供できるよう研鑽を重ねていきたいと思ひます。

主任支援員 平田 雄一

職員より



私は興味のあることや好きなことをとことん突き詰めていく性格であり、現在「J01 (ジェイワン)」というアイドルを応援しています。コンサートの情報やテレビの出演情報などは、SNSなどで情報を調べ欠かさずチェックし、日々推活（おしかつ）に勤しんでいます。

余談が長くなってしまいましたが、私は介護福祉士取得を目指し、3月から実務者研修を受講するために学校に通い始めました。高齢化が進んでいるつくしの里では必要不可欠な資格であり、自分のスキルアップのためにも挑戦することにしました。毎回課題のレポートの提出などもありますが、介護分野に興味があるからこそ頑張ろう、絶対に1回で合格したいと強く思います。働きながら通うことや国家試験の勉強は大変ではありますが、資格取得のために介護に一から向き合っていきたいと思います。（支援員 瀬形）

いつまでもしつこい寒さだった3月、いつから暑くなったのだろうかの4月で、寒暖差の激しい季節を迎えています。利用者さんは「まだ寒か、上着ちょうだい」とご自身で言われる方もいらっしゃいますが、そうでない方も多く、体調を崩さないように気を付けていく必要があります。寒暖差と共に最近では、外に咲く花の美しさとその移り変わりに、よく驚かされます。つくしの里の桜の木や中庭のタンポポ、通勤時の沿道の菜の花など、其々が持つ色の鮮やかさと存在感を、寒暖の変化と共に感じさせられます。先日新聞の投稿欄で「桜はもう散りそうだけど、次はネモフィラが見られるよ」という記事がありました。ネモフィラの花は、青と白で、その花畑では“花の海”のように咲くそうです。快晴の時のネモフィラは、その青が空の青色と溶け合って、見ればもう絶景とのことでした。今季、絶対に見に行きたいと思っています。また、利用者さんとも季節を味わえる外出に行きたいと思っています。（支援員 後藤）



事務局より



昨年は4月初めには桜は散り、春とは程遠い暑さがやってきましたが、今年は入学式まで満開の桜を見ることができて、4月半ばでも肌寒さを感じました。

私事ですが、昨年の冬に中型のバイクの免許を取得しました。父とツーリングに行きたくて免許を取得しましたが、バイクに乗るには寒すぎてまだ行けていません。桜とバイクと共に写真を撮りたかったのですが、その楽しみは来年に取っておこうと思います（笑）。少しずつ暖かくなってきたので休みの日に色々な所へ行こうと思っていますが、まだまだ初心者なので事故を起こさないように安全運転で楽しみます！

入職して5年目となりました。ご家族の方からはもっと前からいたように思うという嬉しい言葉も頂けました。つくしの里の職員として、これからも仕事と趣味を両立させながら頑張っていきますので、改めてご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いします。

（事務員 井手）



行事報告

※ 3/21（金）～4/20（日）の実施分について報告いたします

★ 施設・後見人・家族情報交換会【3月29日（土）つくしの里】

第2回目の施設・後見人・家族情報交換会は、午前中は令和7年度の事業計画、午後からは各班事業計画と丸1日かけて説明させていただきました。桜が満開に咲き誇る中、多くの後見人、ご家族の方にご参加頂き、誠にありがとうございました。令和7年度は新しい体制のもと、施設一丸となって施設運営、利用者支援に取り組んでいきたいと思ひます。

午後の各班事業計画説明が終わると、満開になった桜を背景に班ごとに写真撮影を行いました。この時期の桜の満開はなかなかないので、ご家族含めての久しぶりの集合写真は貴重な写真撮影となりました。

（支援係長 竹下）



★ 入職式・永年勤続表彰【4月1日（火）つくしの里】

3月の実習期間を経て、4月から1名の新卒職員が入職しました。1日に入職式が行われ、緊張した面持ちの中、誓いの言葉をハキハキと話してくれた事が印象的でした。これからたくさんの事を吸収し成長してくれる事に期待し、しっかりとサポートしていきたいと思ひます。また、洗濯・環境班の職員として新たに1名入職しました。新しい仲間と協力しながら利用者さんの支援に努めていきます。

また、入職式に合わせ永年勤続表彰が行われました。表彰を受けた職員をこの場を借りて紹介させていただきます。25年勤続の竹下係長、北島支援員。20年勤続の古庄さん（GH世話人）。10年勤続の奈須管理栄養士、尾崎支援員の5名です。おめでとうございます。

（主任支援員 小嶋）



★ 靴訪問販売【4月14日（月）つくしの里】



株式会社チヨダさんに来園して頂き、靴の訪問販売を行いました。2月に気になる靴を実際に履いて選びました。利用者さんの中には選んだ靴を大変気に入られて購入を待ち遠しくされている方もいらっしゃいました。毎日のように「靴はいつね」と尋ねられ、念願の購入日には真っ先に販売所で待機されていました。購入した靴がカッコイイと大喜びで職員に自慢する方もおられ、実施してよかったと感じました。

職員としても、プロの目を借りて利用者さんが安全に快適に過ごせる靴を選んでいただき、非常に良い機会になりました。
(支援員 池崎)

サービス向上委員会より



■ 権利擁護【主任支援員 小嶋・支援員 外山・山田】

権利擁護とは利用者さん一人ひとりの権利や尊厳を守り、その人らしい生活を支える事です。今年度の人権擁護委員会の取り組みは、主に利用者さんの自治会(どぎゃん会)の運営面でのサポートや虐待防止のセルフチェックを行っていきます。利用者さんから出る意見や気持ち等を大切にし、少しでも利用者さんに寄り添えるような活動をしていきます。

また、虐待のセルフチェックでは、日頃の支援の見直しを図る事や職員の心身の状態を掴みながら、より適切な支援に繋がられるよう取り組んでいきたいと思ひます。

施設PR委員会 今月の1枚！



強歩中に

春



を見つけました！

行事予定



☆ つくしんピック (つくしの里)

期 日：5月22日（木）

内 容：いきいきグループときらめきグループに分かれて、的あてゲームや風船バレーなど楽しいゲーム盛り沢山で楽しみたいと思ひます♪



☆ 面談・通帳確認 (つくしの里)

期 日：5月1日（木）～30日（金）

内 容：面談日につきましては担当職員より連絡させていただきます。
お忙しいところ恐縮ですが宜しくお願い致します。

ありがとうございます

今月の掲載分は、

令和七年三月二十一日

令和七年四月二十日です



【寄付・寄贈】

- | | |
|---------------------|----------|
| ・清田 すま子 様 | ・後藤 弘子 様 |
| ・米田 政輝 様 | ・坂田 昌子 様 |
| ・下田 くに子 様 | ・中島 秀子 様 |
| ・藤田 孝志 様 | ・三上 貴宏 様 |
| ・渡辺 昭子 様 | ・丸山 典子 様 |
| ・川上 信代 様 | ・古庄 晴美 様 |
| ・つくしの里保護者会 様 | |
| ・(株)IHインバウラ 坂本 啓二 様 | |

【ボランティア】

- | | |
|----------|-----------|
| ・村里 和洋 様 | ・カモメ様 |
| ・トキロロ 様 | ・木本 ふじ子 様 |



誠にありがとうございました。

利用者さんの為に使用させて頂きます。



新入職員あいさつ

今年度は二名の職員を迎えました。

この場を借りてご挨拶申し上げます。

【支援員 生活介護②班】

○日高 直（ひだかなお）

初めまして、日高直と申します。私は、利用者さん一人ひとりに寄り添い、個別のニーズに応じたサポートを提供することが大事だと考えております。その大切な役割を果たすために、日々努力を惜しまず、利用者さんに安心と笑顔を届けられるように努めて参ります。どうぞよろしくお願い致します。

【準職員 洗濯・環境班】

○松崎 さゆり（まつざき さゆり）

老人の施設で十二年ほど働いておりました。入職して早一か月、最初に感じたことは、職員の歩く速さでした。しかし何事に対しても優しく教えていただき本当にありがたいです。少しでもきれいな環境で利用者さんが過ごせるよう、頑張っていこうと思います。どうぞよろしくお願い致します。



編集後記

やっと春らしい過ごしやすい気候になった事もあり、利用者さんが外に出て散歩に取り組む姿が多く見られます。歩くことで、体力が付き骨や筋肉が丈夫に、血行も良くなり、自律神経も整うそうです。健康に良いこと尽くしで、生活習慣病の予防にもなります。この先、長く健康であり続けるためにも「歩くこと」を意識していきたいと思います。

おかげさまで、里だよりが今月号で「四〇〇号」を突破しました。長年皆様に愛読頂けて嬉しく思います。これからも利用者さんの様子や施設の事を「里だより」を通して発信していけるよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



※お詫びとおことわり

里だより担当では、毎月十分注意して、記事の記載、確認をしておりますが、誤字脱字等がございましたら何卒ご容赦していただたく存じます。